

追跡

— あの質問のゆくえ —

「地域おこし協力隊」の考えは

地域づくりや地域活性化の一つとして、総務省で支援している「地域おこし協力隊」への取り組みを検討しては。

平成26年12月

当局答弁

隊員の役割や活動内容、応募の有無などの課題はあるが、地方創生と合致する部分もあるので、コミュニティセンターなどと協力し、対応していきたい。

どうなった

配置状況について

平成27年度から募集を行ない、平成27年度には蚕桑地区に2人、平成28年度は鷹山地区に2人と白鷹町観光協会に1人を配置し、現在合計5人の隊員が活動を行なっています。

地域おこし協力隊の活動について

隊員はそれぞれの能力や知識を活かして、地域の歴史の掘りおこしや森林の再生、地域の見守りや防災力向上に向けての活動、観光を中心とした町情報の発信活動を地域の皆様とともに行なっています。さらに協力隊としての活動のほかに、地域行事や会合などにも参加させていただきます。地域の皆様には、気軽にお声がけいただき少しでも早く地域の一員となれますようご協力をお願いいたします。



現在活躍している協力隊員

事業の検証と評価

この事業は総務省で「地域力の創造・地方の再生」として支援しているもので1人3年以内とされている。現在、5人の方が活動されていて頼もしい感じがする。都会の若者から見て白鷹町にどんな可能性を感じているのか知りたい。

地域づくりの主役は住民で、協力隊は裏方である。暖かく見守り、育てて地域民として活躍してもらい、定着・定住して起業へと進んでいただきたい。

いまが
がんばりどき
でしょう